



# フランス 暮らしの中の かわいい民芸

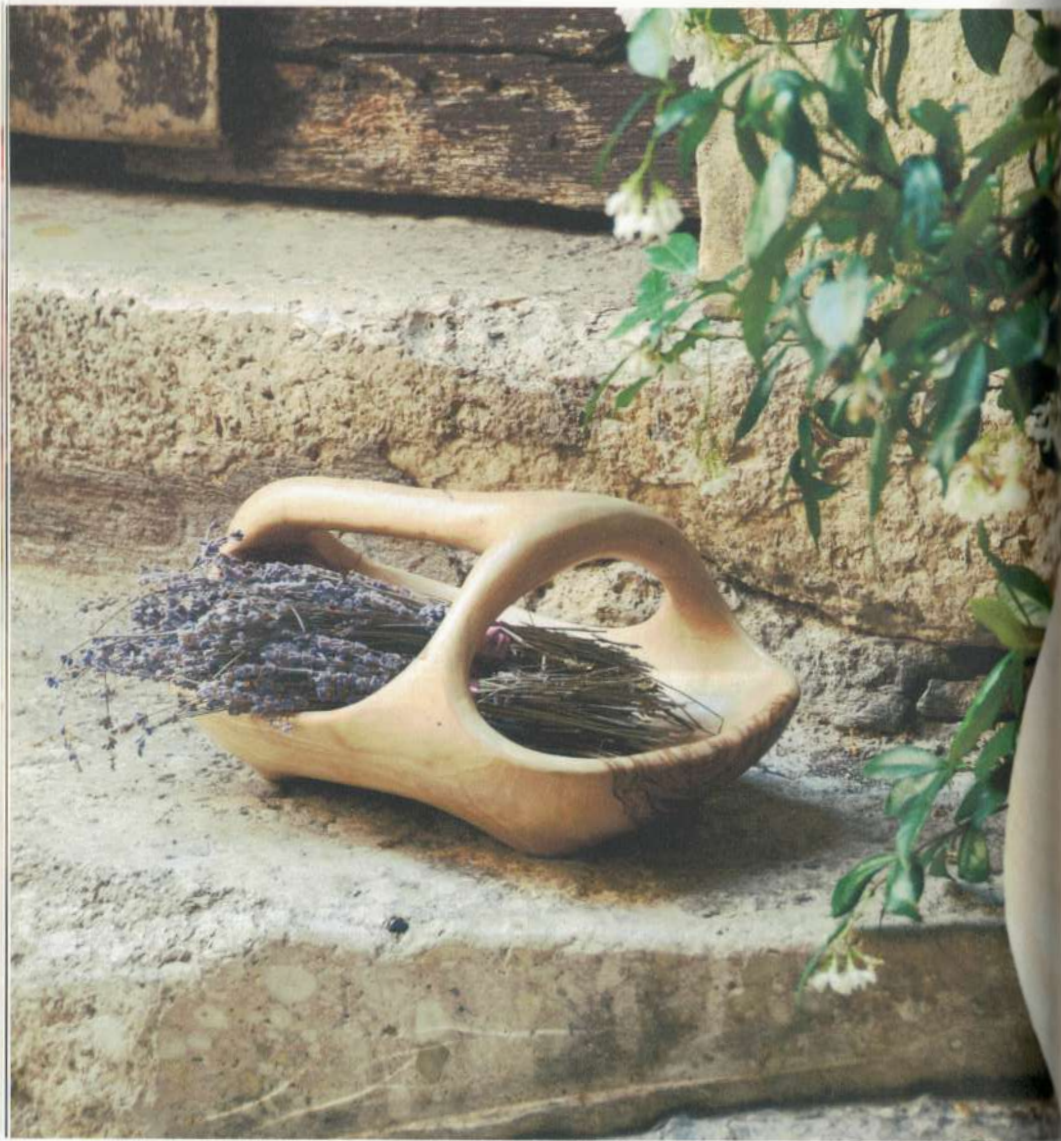
*L'art populaire dans une vie française*



リネン・陶器・かご・レースなど、  
長く愛されてきた暮らしの雑貨たち。  
フランス各地で見つけた、素朴であたたかな  
手づくりの民芸品の数々をお届けします。

酒巻洋子





❖ オリーブ細工  
Bois d'olivier



頑固なオリーブの木を  
肌美人のキッチン道具に

南フランスの地中海沿岸らしい風景をなす要素のひとつがオリーブの木。実は塩漬けやオリーブオイルのプロヴァンス料理に欠かせない調味料に、木材はこの地方ならではの民芸品になります。しかし、オリーブの木は硬い材質のため、加工するのが大変な素材。木の繊維が不規則で、切り出し部

分に合わせて作るものを考えなくてはけません。「自分が作りたいものではなくて、木が何になるかを決める」と話すのは、今や数少ないオリーブ細工職人のデュボスクさん。研磨に時間がかかるのもオリーブの木の特徴ながら、油分を含んだ木材が磨きに磨かれて、つるりとした木肌に仕上がった手触りはお見事。使うほどに艶色に輝くオリーブ細工は、頼りになる台所道具として一生活躍してくれそうです。



デュボスク・エ・フィス  
DUBOSQ ET FILS  
住所：48, Grande Rue 06140 Tourrettes-sur-Loup  
TEL：06 24 34 29 35  
<http://www.boisdolivier.eu>



まず木ありき。  
その木で何がつくれるか  
どうしたら捨てる部分が少なくてすむかを考える。  
材の個性を見極め木目をもっとも美しく出せる形につくってゆく。

サイズ、デザインともバリエーション豊富に揃うすり鉢。  
そのままボウルとして使いたい素敵なデザインばかりだ。

## 地中海文化の神聖なるシンボルを 美しい日用品に再創造する

南仏の工芸品にオリーブの木工細工がある。独特の艶と大理石のような木目が魅力で、キッチンやインテリアの小物がよく知られている。カンヌから車で1時間ほど入った山間の村、トゥレット・シュル・ルーに、その木工師を訪ねた。ギヨーム・デュボスクさん、34歳。父が1958年に始めた工房を若くして継いだ、情熱と創造性あふれる木工師である。

1. トゥレット・シュル・ルーの町並み。中世、異教徒から逃れるために、この地方の険しい岩山に築かれたという通称「鷲の巣村」の一つ。2. ギヨーム・デュボスクさん。ポウルをやすりで削っているところ。3. あるじの人柄がしのばれる、温かみのある自宅兼工房の表札。4. 倉庫では出荷を待つたくさんの木材が眠っている。ひとたび手に入れた木材は決して捨てず、端切れになっても使い切るそうだ。5. 乾燥中のすり鉢。材が軟らかいうちに成形し、3年間ゆっくりと乾かしたのち仕上げをする。6. オリーブの瘤。病気の際、あるいはキズを自ら埋めようとして出来る。とりわけ木目が美しいので珍重される。




意外にもオリーブ木工の歴史は短く、その始まりは60年ほど前。1956年にヨーロッパを襲った大寒波により、枯死したオリーブの樹を何とか活用しようとして始まったのだという。オリーブは年輪が緻密で複雑なため、とても硬くて加工が難しい。だからそれまでは敢えて使われることもなかったそうだ。

しかし一たび製品になると、浮かび上がる木目の美しさ、しっとりとした質感などが、たちまち人々の心をとらえた。中でもカッティングボードやサラダポウルなど、身近に使うテーブルウェアが人気を博す。すり鉢も安定感があって使いやすく、今も小ささまざまな形がつくられている。

時々オリーブオイルを拭き込んであげれば、艶を取り戻し、長持ちする。ギヨームさんの工房には、40年前の結婚時に買った（つまりギヨームさんの父がつくった）サラダポウルを修理に持ってきたお客様がいたという。オリーブは神聖な樹とみなされていることも、永く大切に使う気持ちにつながっているのだらう。

やや皮肉なことに、フランスのオリーブはその後保護が進み、現在は幹の伐採が禁止され、枝しか手に入れることができない。幹を使いたい場合は、スペインやイタリアなどで買い付けている。1960年代には各村に1軒はあったというオリーブ木工の工房も、今ほとんど珍しい存在になってしまった。

それだけにギヨームさんは、いつまでも愛されるものづくりを一層心掛ける。近年はカンヌやモナコの高級レストランから特注品の注文もあり、腕にさらに磨きをかけている。



大切なのは材木の声を聴きとること

ギヨーム・デュボスクさん

オリウ木工師 在トゥレット・シュル・ルー



9784887520448



1920070018004

ISBN978-4-88752-044-8

C0070 ¥1800E

DNPアートコミュニケーションズ

定価 本体1800円+税



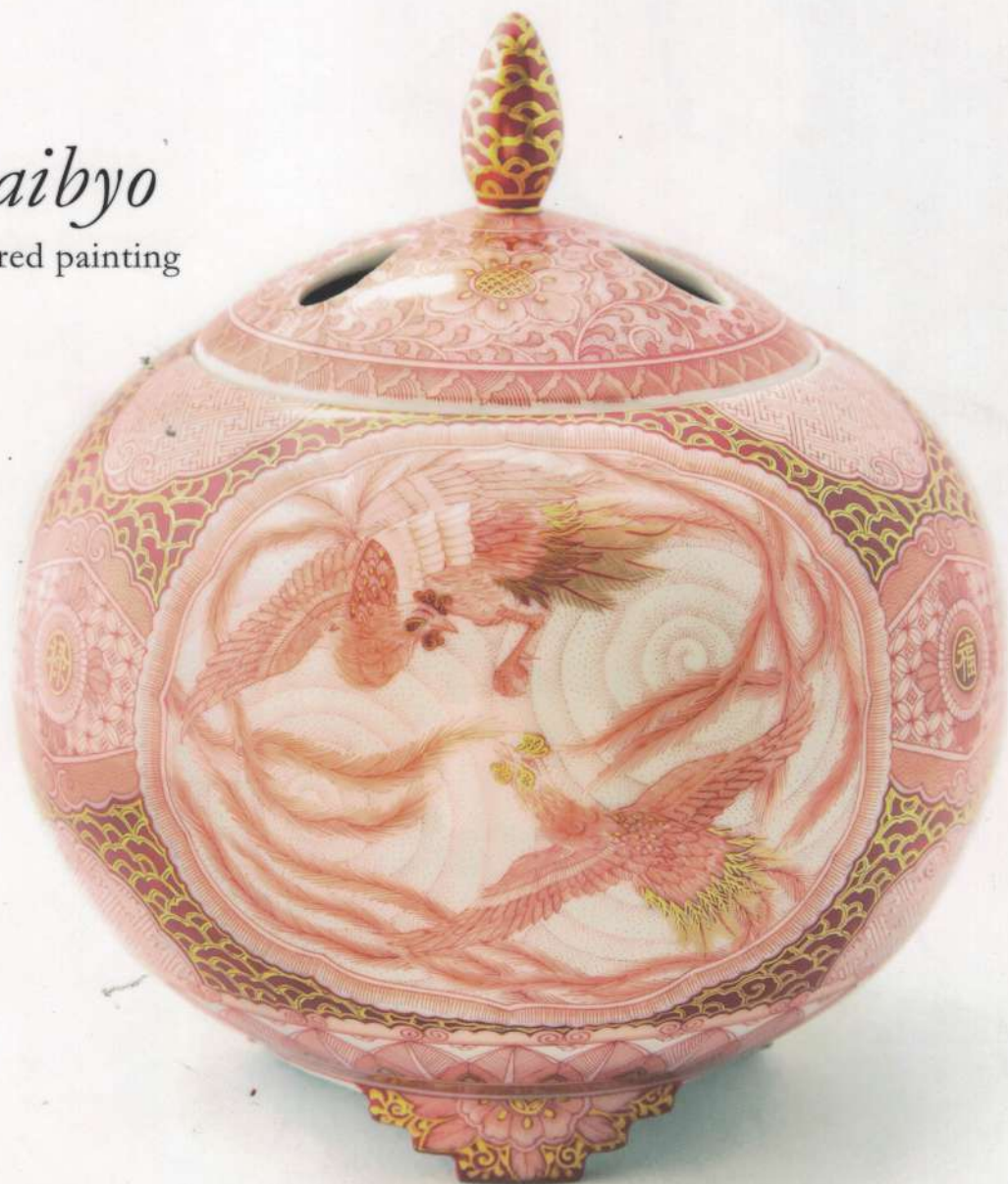
AUTUMN 2015

ARCHIVES

# *Akae saibyō*

Kutani with fine red painting

赤絵細描





1. お店は村の中心地、中世の建物が続く区画にある。2~4. 大小さまざまな作品が並ぶ店内。5. 樹齢千年以上とされるオリーブの、根元に近い部分でつくったボウル。割れないように少しずつ、5年をかけて彫り上げたという。ちなみにオリーブは、年輪がきわめて緻密かつ複雑なため、樹齢については植樹記録から判断するそうだ。